

令和2年度（2020年度）第11回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：令和2年（2020年）12月21日（月）14時40分～15時40分

場 所：熊本県立大学大会議室

出 席：学長	半藤 英明
副学長	堤 裕昭
事務局長	斉藤 浩幸
文学部長	鈴木 元
環境共生学部長	石橋 康弘
総合管理学部長	澤田 道夫
文学研究科長	虹林 慶（リモート参加）
地域連携政策センター長	丸山 泰（リモート参加）
学術情報メディアセンター長	北原 昭男（リモート参加）
国際教育交流センター長	レイヴィン・リチャード（リモート参加）
学校法人 九州ルーテル学院長	内村 公春
株式会社 熊本日日新聞社 調査役	松下 純一郎
熊本県公立高等学校長会長	越猪 浩樹

監 事：公認会計士・税理士	河喜多 保典
弁護士	本田 悟士

事務局：手島事務局次長、丸山総務課長、三隅教務入試課長、尾方教務入試課教務班長

1 開会

2 学長挨拶

3 議事

（1）審議事項

① 教員の昇任人事について

事務局総務課長から、資料1-1に基づき「文学部の講師1名の准教授への昇任、環境共生学部の准教授1名の教授への昇任、総合管理学部准教授1名の教授への昇任について、審議いただきたい。」との説明があった。

続いて、全学資格審査委員会議長である副学長より、資料1-1に基づき、「各学部長から推薦があった3名について、昇任は適当であると全学資格審査委員会において判定した。」との報告があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 文学部カリキュラム改正案について

文学部長から、資料2に基づき「第3期中期目標にある計画目標を達成するため、見直しを行い、文学部で担当している全学共通教育について2科目を新設、また学部カリキュラムについて学部共通科目の年次を変更するなど、新規開設、一部廃止に向け進めてきた。特に英語英文学科においては、新たなカリキュラムに変更するなど大きな改正が図られた。ついては、令和3年度からの実施に向け御審議いただくもの。」と説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 令和3年度（2021年度）授業暦（案）について

事務局教務入試課長から、資料3に基づき、「①前後学期それぞれ15回の授業日を設定、②一部祝休日に授業日を設定、③後学期の授業開始日を10月1日に設定、④補講日を原則月1回土曜日に設定、また補講時間の調整を図るため試験期間前の週に補講週間を設定、⑤試験期間は15回目授業の後に7日間設定している。本日この案を承認いただければ、学長決裁のうえ学生及び教員に周知する。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

④ 令和3年度非常勤講師の採用について

事務局教務入試課から、資料4-1、資料4-2に基づき「令和3年度の非常勤講師の採用について、各学部長、研究科長から推薦があった110名について審議いただきたい。採用予定者は名簿のとおりである。本審議の結果、令和3年4月1日採用予定として順次手続きを進める。なお、今後、追加による採用予定者については、以降の教育研究会議で審議いただく予定である。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

（2）報告事項

① 日本語教員養成課程の改編について

文学部長から資料5に基づき、「新年度から文学部において日本語教員養成課程としてカリキュラムがスタートする。これまでも日本語教員養成については行ってきたが、外国人労働者の急増や国際化が急速に進むなど、社会の要請に応じ文化庁が制度設計を行ったため、この要件を満たすよう、本学のカリキュラムを改編した。これにより、文化庁認定の修了証の発行が可能となった。」との説明を行った。

4 その他

次回日程 令和3年度（2021年度）第12回 1月18日（月）
午後2時40分～ 本部棟2階 大会議室

5 閉 会